

授業科目名(英文名)bbb / Course title	持続可能社会創成学概論				
担当教員(所属) / Instructor	張 勁(理学部生物圏環境科学科),大西 宏治(人文学部),堀江 典生(極東地域研究センター),龍 世祥(経済学部経済学科),神山 智美(経済学部経営法学科),和田 直也(極東地域研究センター),柴柳敏哉(都市デザイン学部材料デザイン工学科),久保田 善明(都市デザイン学部都市・交通デザイン学科)				
授業科目区分 / Category	専門教育科目 学環共通科目				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第1ターム / Term 1 月/Mon 2	対象所属 / Eligible Faculty			
時間割コード / Registration Code	D41001	対象学年 / Eligible grade	1年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code					
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	張 勁(張 勁(電話番号: 076-445-6665 Email: jzhang@sci.u-toyama.ac.jp) JING ZHANG(Tel: 076-445-6665 Email: jzhang@sci.u-toyama.ac.jp)) 大西 宏治(ohnishik@hmt.u-toyama.ac.jp 研究室電話 076-445-6184 研究室 人文学部4F 408号室) 龍 世祥(経済学部411研究室 電話: 6433(内) mail: longshix@eco.u-toyama.ac.jp) 久保田 善明(kubota@sus.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	張 勁(張 勁(18:00 19:00 Thursday (student should contact by email in advance; my office is B327 in the Science Building) 毎週木曜日 18:00 ~ 19:00、事前にメールで連絡すること。居室は理学部B棟B327室。)) 龍 世祥(メール、あるいはMOODLEで事前連絡してから訪問すること。) 久保田 善明(メールで事前連絡してから訪問すること)				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://lms.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2022_D41001				
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
持続可能な社会を構築するためには、現代社会が抱える課題を、様々な分野で積極的に解決することが必要です。さらに本講義では、人文・社会・都市デザイン・理学のそれぞれの専門分野の視点から、各分野の相互作用として生じている課題を提示し、その解決のために必要な対策について学習します。これらの学習を通じ、一つの分野に留まらない、分野横断的な考え方の理解を深めます。					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
持続可能な社会を構築するためには、現代社会が抱える課題を、様々な分野で積極的に解決することが必要です。さらに本講義では、人文・社会・都市デザイン・理学のそれぞれの専門分野の視点から、各分野の相互作用として生じている課題を提示し、その解決のために必要な対策について学習します。これらの学習を通じ、一つの分野に留まらない、分野横断的な考え方の理解を深めます。					
達成目標 / Course Goals					

本授業8回分を受講することを通じて、

- ・「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」（以下SDGs）に関する基礎的な知識を取得し、自ら考えて説明できるように出来ます。
- ・気候変動や生物多様性、地球環境問題やサステナビリティの問題が、生活や社会にどのような影響を及ぼしているか、世界・国・地域の観点から学び、受講学生が学識者として社会及び自然に対する意見を言える能力を身につけます。
- ・SDGsについての理解を深めると同時に、環境・国家・社会・経済など様々な観点で、持続可能な社会の構想実現に向けた社会の要求などについて、多面的に考える能力（問題発見・資料収集・総合判断・改善策提案など）を高めます。

授業計画（授業の形式、スケジュール等）/Class schedule

第1回：ガイダンス；SDGsとは、気候変動と持続可能社会（張）
 第2回：戦後の人間・社会・地球システムの変遷史
 —なぜ持続可能な社会を目指すのか—（和田）
 第3回：環境法・環境政策：海洋生物資源の保全と海洋生態系の保護 - 国際法と国内法（神山）
 第4回：持続可能な現代の都市政策とインフラストラクチャー（久保田）
 第5回：持続可能な資源循環：金属材料のライフサイクルコスト（柴柳）
 第6回：持続可能社会に向けた市民参画型地域づくり（大西）
 第7回：持続可能な地域社会とその循環構造（龍）
 第8回：北東アジア地域の持続可能社会の実現に向けて今何が求められているのか？
 —本講義のまとめ—（堀江）

授業時間外学修（事前・事後学修）/Independent Study Outside of Class

授業時間外学修は、授業1回分に対して0.5～2時間程度の自主学修である。学修効果を高めるため、事前学修では主にこれまでの授業内容について復習を行い、事後学修では小テストを通じての学習を行うと同時に、場合によっては課題に対するレポートを作成する。

キーワード / Keywords	気候変動、人間・社会・地球システム、変遷史、環境法・環境政策、都市政策、資源循環、地域づくり、北東アジア地域
履修上の注意 / Notices	すべての週の講義に出席すること。 レポートや小テストなどの際、学科名や学生番号と名前など、個人を特定できる情報を必ず記入すること。記入がない場合は、採点対象外（0点）となることがある。

教科書 / Required Text

参考書 / Required Materials

教科書・参考書に関するその他通信欄	授業の前に各担当教員から連絡し、必要な資料は配布する。 参考書： ・若林芳樹ほか編『参加型GISの理論と応用』古今書院，2017年
-------------------	---

成績評価の方法 / Evaluation	皆出席を原則とする。達成目標で掲げている知識の取得や能力を、各回を担当する教員による小テスト（あるいはレポート）に基づき、総合的に評価する。 小テスト（あるいはレポート）の合計点（100%）
----------------------	--

関連科目 / Related course

リンク先URL
/ URL of syllabus or other information

備考 / Notes

授業追加情報 / Course add information

使用言語 / Language	日本語および英語
アクティブ・ラーニングの実施 / Active learning	実施なし
アクティブラーニングの実施内容 / Contents of Active learning	
実務経験教員科目 / Work Experience teacher's subjects	
データサイエンス科目 / Data Science subjects	
他学部・他研究科等学生の履修可否 /	可